



廿日市市立佐伯中学校 令和3年度

【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標：「夢や目標に挑戦し，自己実現を図る生徒の育成」“みんなの笑顔があふれる居心地のいい”学校づくり！

5月号 (No.2)

令和3年

5月1日 (土)

学校教育目標

「夢や目標に挑戦し，自己実現を図る生徒の育成」

令和3年度スタートして1ヶ月が経ちました！

新年度がスタートして，1ヶ月が経ちました。生徒は，新しい学年で新しい仲間とともに，学校生活を楽しく過ごしています。この1ヶ月間，就任式，始業式，入学式，新入生オリエンテーション，参観日，1年生の保護者面談，部活動集会，眼科検診など，行事のない日はないくらい，忙しくかつ充実した日々だったと思います。とりわけ，1年生にとっては，中学校生活に慣れるのに大変な1ヶ月だったと思いますが，順調に中学校生活に慣れていっていると感じています。

入学式の式辞（抜粋）「道はいつもひらかれている」

小田校長は，新入生に2つのメッセージを話しました。「夢を持つこと」そして「挑戦すること」です。卒業するまで，ずっと覚えていてほしい言葉です。式辞の最後には，古谷綱武さんの「道はいつもひらかれている」の詩の一部を紹介しました。

一つめは，「夢を持つこと」です。

水泳選手の池江璃花子さんは，白血病を克服して，東京オリンピックへの切符を手に入れました。

では，なぜ，池江さんは，重い病気を乗り越えて，東京オリンピックの代表を掴んだのでしょうか。それは，自分の中に，はっきりとした夢や目標があったからではないでしょうか。池江さんは，オリンピックにどうしても出たいという夢と強い意志があり，それをバネにして，私たちが想像できないぐらいの努力を積み重ねたからこそなしたものだと思います。**つまり，人は，夢や目標があれば，辛いことがあったとしてもがんばれるのです。**新入生のみなさん，佐伯中での3年間で充実したものになるよう，池江さんのように，夢や目標に向って，勉強や部活動などに，全力で取り組んでください。

二つめは，「挑戦しよう」です。

パナソニックの創業者である松下幸之助さんは，挑戦すること，体験することの大切さを次のように詠んでいます。「**体験は何にもまさる宝**」だと。いくら本を読んでも，人から教わっても，どんなに考えても，実際にやって体験しなければ，自分のものにはなりません。例えば，ギター演奏，自転車，スキーや水泳などのスポーツは特にそうだと思います。何かがうまくできないと言って，やらなければ，いつまで経ってもできませんし，やらなければ，ますますできなくなってしまうこともあると思います。**自分で体験して初めて身に付くことが沢山あります。**良かったことも悪かったことも，成功したことも失敗したことも，**すべて実際に体験したからこそ気付けることです。**ゲームのように，バーチャルの世界だけでは，いっこうに身に付かないのです。

今日から始まる中学校生活の中で，小学校では，やろうと書いていてもできなかったことを，ぜひ，やってみてほしいと思います。**勉強・部活・夢へのチャレンジなど，目標を決めて，挑戦しましょう。挑戦の先にこそ，大きな成長があります。**



4/1 新しい先生を迎えて



入学式



入学式



参観日

いじめをテーマにした学校暮会（4月）

※カラー版は、佐伯中のホームページでご覧いただけます。

4月22日（木）に、4月の学校暮会を放送で行いました。松谷みよ子さんの実話をもとにした「わたしのいもうと」という、「いじめを題材にした絵本」を紹介しました。松谷さんは、この絵本を通して、自分と同じでないと許せないことや、誰かを差別することで自分を保つこと、そしていじめを見過ごすことは、人間の尊厳を踏みにじる行為だと厳しく批判しています。放送後、生徒はやりとり帳に、次のような感想を書いてくれました。

○こんな嫌な実話があって悲しいと思いました。いじめは人の命を奪うことが分かりました。（1年）
 ○今日は放送でいじめについての話を聞きました。私は放送を聞いて、いじめの恐ろしさや悲しさを知りました。私もいじめについて考えて何か取り組みたいです。（1年）
 ○「私の妹」の話を聞いて、小4ぐらいに同じ話を聞いて、前と今では重みが違いました。よくニュースでいじめをよくやっていて、本当にいじめがダメだと分かりました。（1年）

○いじめは人の命を奪う行為だということを知りました。（2年）
 ○校長先生の話を聞いて、いじめはあってはいけないものだと思います。また、いじめた人たちは、覚えていないのでそれはひどいと思いました。（2年）
 ○今日の放送を聴いて思ったことは、やっぱりいじめはよくないと思いました。今まで沢山人権についてやってきましたが、いじめだけは本当に許せませんね。（2年）

○話を聞いてかわいそうだなと思った。何気ない一言や行動で相手を傷つけてしまうかもしれないので気をつけていきたいと思った。（3年）
 ○校長先生の話を聞いて、いじめは本当にいやなことだし、誰かを知らないうちに、傷つけていないか、人の気持ちをちゃんと考えられているかなど、改めて考えることができました。（3年）



【いじめについて、心に刻んでほしい3つのこと】

1 「いじめは絶対に許さない」

本校では、どんな小さいいじめも許しません。

2 「自分や他人の命を大切にする」

いじめによって自分や他人の命が脅かされることがあってはなりません。そのために他人を思いやり、認め合うことの大切さについて考え、行動してください。

3 「一人で抱え込まず、相談する」

いじめによって辛い思いをすることがないように、また、一人で抱え込むことがないように、話しやすい人に必ず相談してください。受けとめてくれる人が必ずいます。

図書室に本があります。

※本校には、心の悩みを相談することができるスクールカウンセラーの菅先生と、生活の中で抱えている様々な問題の解決を図る福祉の専門家のスクールソーシャルワーカーの阿部先生が配置されています。相談したい生徒や保護者の方は、遠慮なく、以下の窓口の先生にご相談ください。

体罰・セクシャルハラスメント及びいじめ等の相談窓口 Tel 0829-72-1145
 教頭 秋本 豪 , 生徒指導主事 秋田 智恵, 特別支援コーディネーター 恵木 美智子
 養護教諭 三輪 千恵 <気になることがありましたら、いつでもご相談ください。>

部活動集会

4月23日（金）に部活動集会がありました。体験入部を終えて、新1年生は入部する部活動を決め、新しいメンバーとなりました。部活動集会では、自己紹介や活動方針等を決めました。自分が選んだ部活で、社会性を養い、育てていってほしいと思います。

部員数（5月1日現在）

- 野球部 16人
- サッカー部 12人
- ソフトテニス部 14人
- 陸上部 12人
- アーチェリー部 22人
- バレー部 10人
- 卓球部 12人
- 剣道部 6人
- 吹奏楽部 22人
- 美術部 21人



お願い：働き方改革のため、学校への電話は、午前7時45分～午後6時までにご利用します。